

2 平成 15 年度予算の執行状況等（前期）

平成 15 年度予算については、本市財政が悪化の度を一層深める状況の下での編成となりましたが、経費削減による縮小一辺倒に陥ることなく、一層の「選択と集中」、すなわち、「京都が将来も世界の中で光り輝くために今何をなすべきか、市民の暮らしを守るために何ができるのか」を全庁挙げて徹底的に考え抜き、京都市基本計画に掲げる三つの柱立てに従い、計画を着実に推進する予算として編成しました。

とりわけ、福祉、教育分野を引き続き市政の最重点政策に位置付けるとともに、すべての分野で環境を基軸とした施策の展開を図ることを基本としつつ、

- (1) 少子・長寿化に対応する子育て支援・教育環境の整備と高齢者福祉の充実
- (2) 京都の特性を生かした基幹産業の活性化と新産業の創出
- (3) 新たなまちの活力を生み出す基盤整備

の三つの分野に限られた財源を重点的に配分しました。

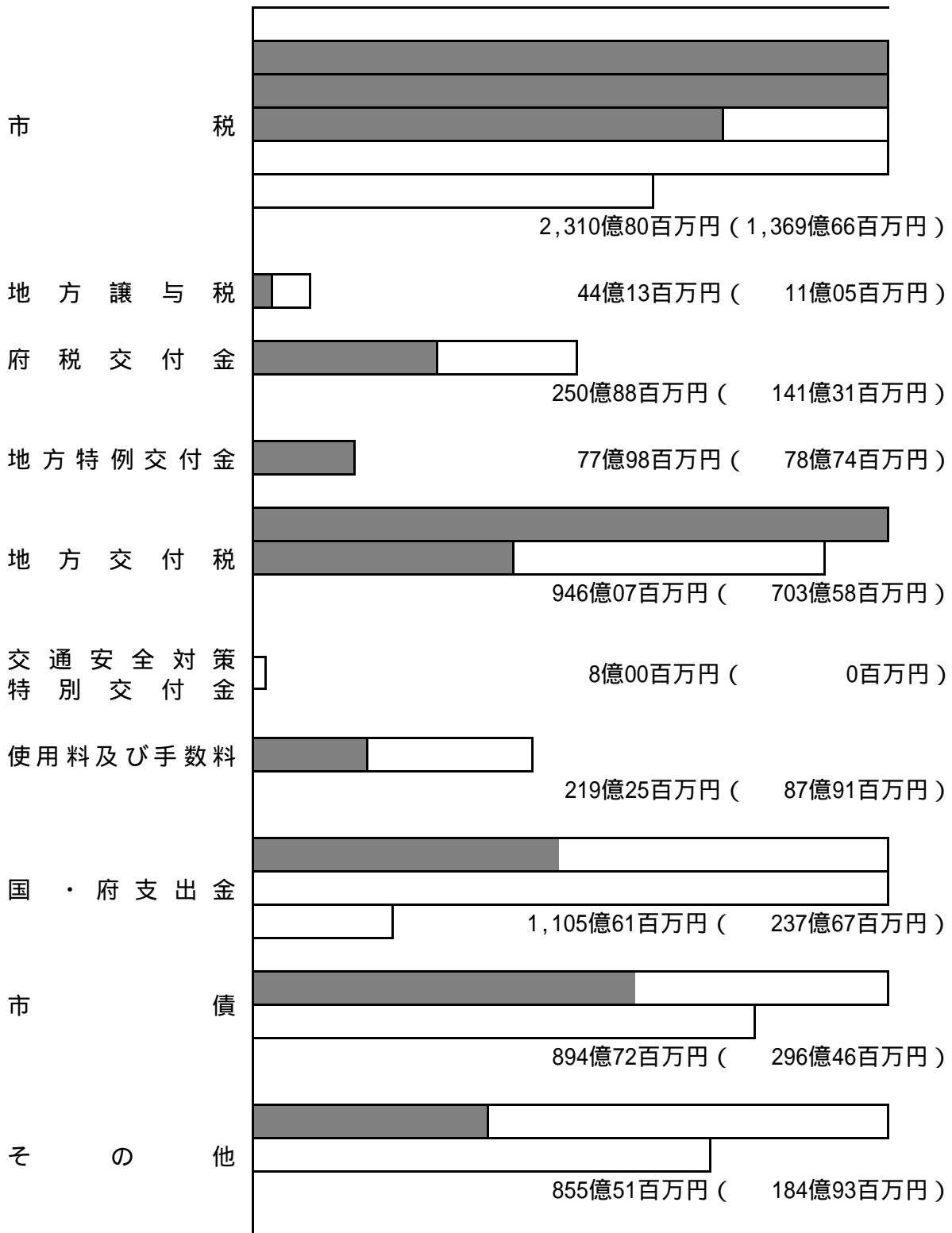
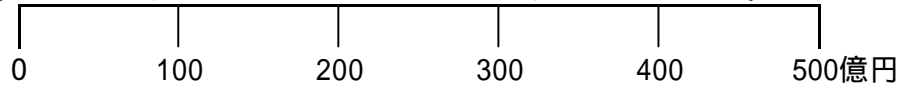
なお、特別会計については、5 月に国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計及び中央卸売市場第一市場特別会計の補正を行いました。

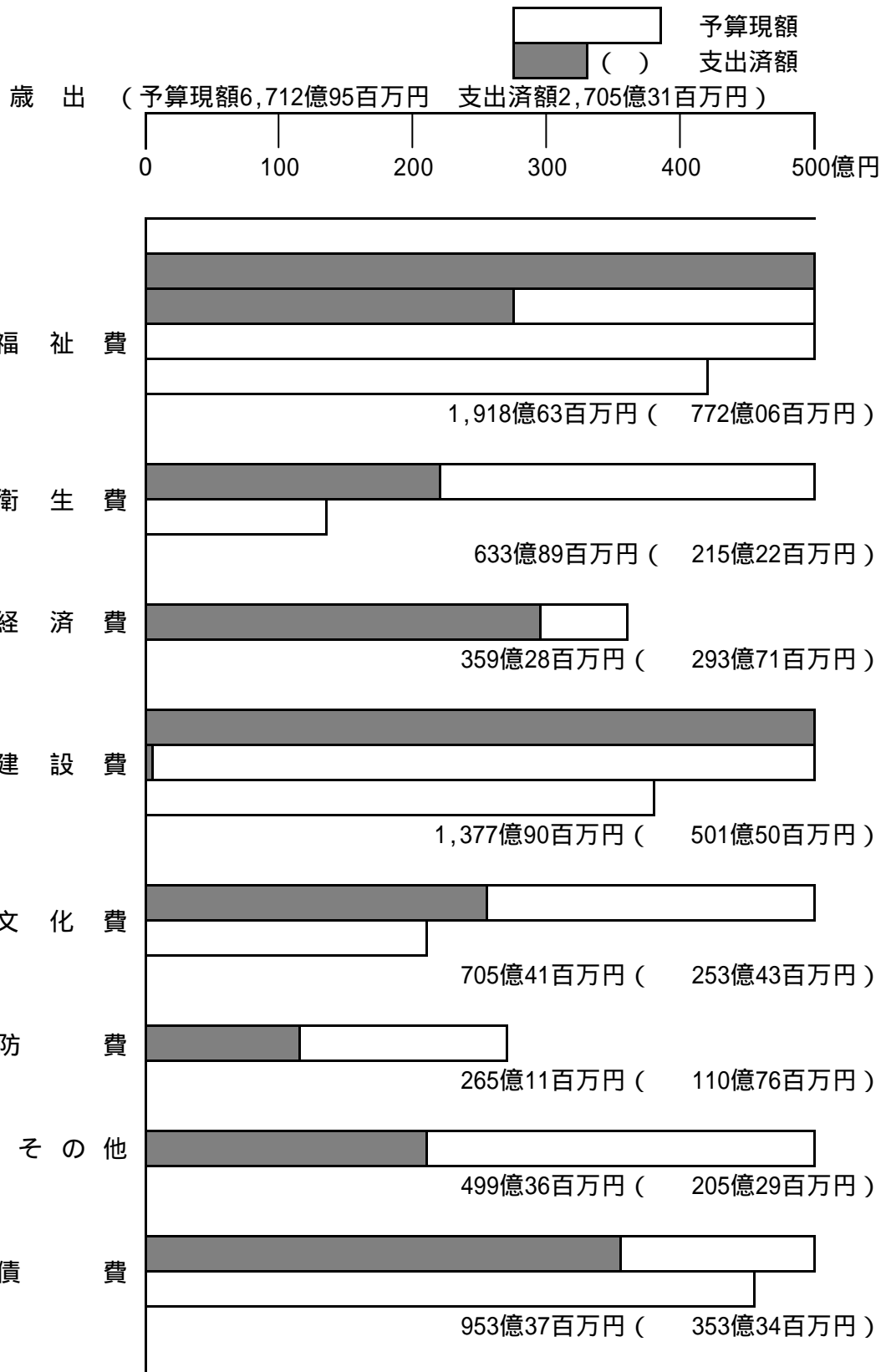
平成 15 年 9 月 30 日現在の予算の執行状況等は、次のとおりです。

一般会計予算の執行状況

予算現額
 () 収入済額

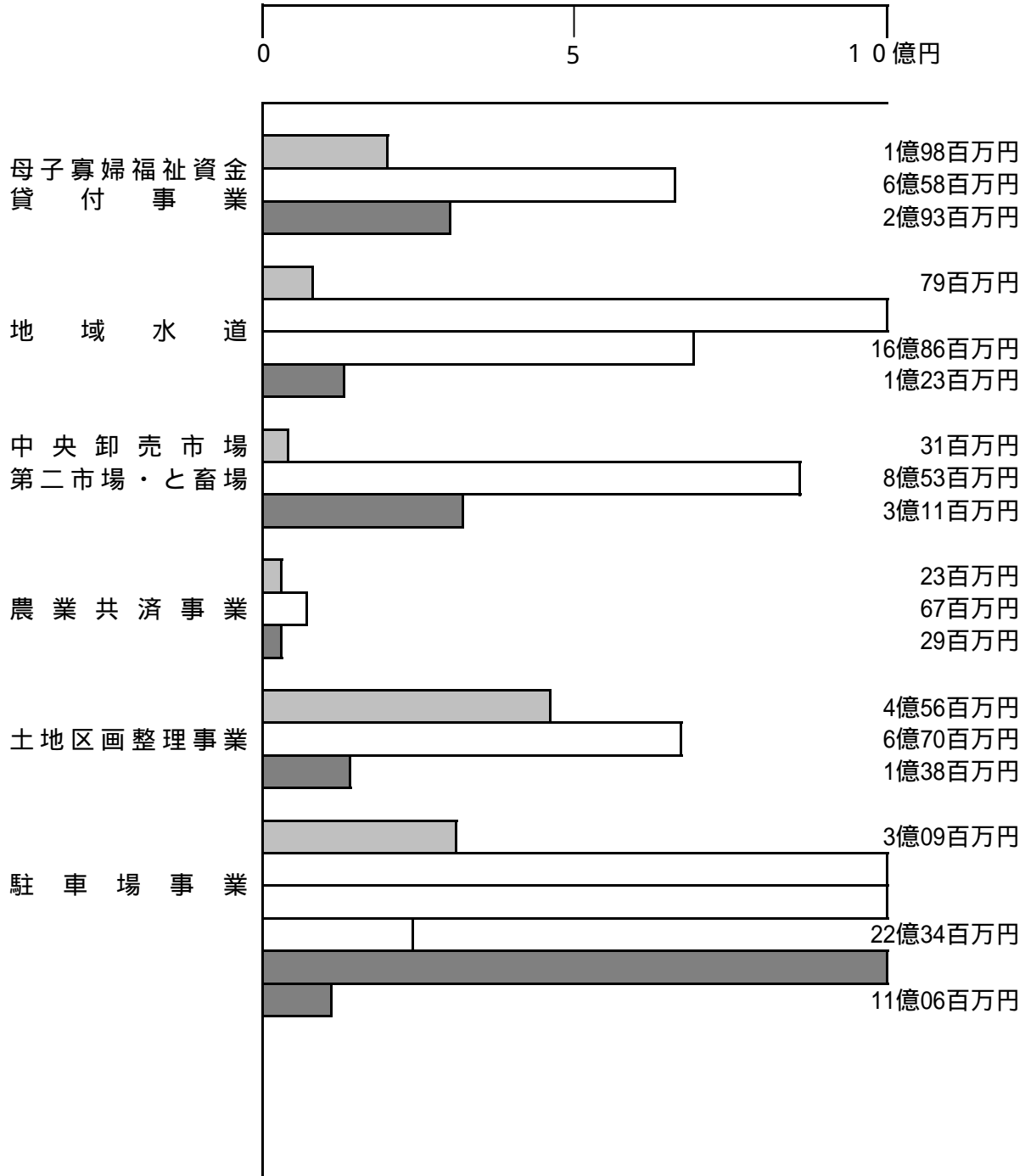
歳入 (予算現額6,712億95百万円 収入済額3,111億31百万円)



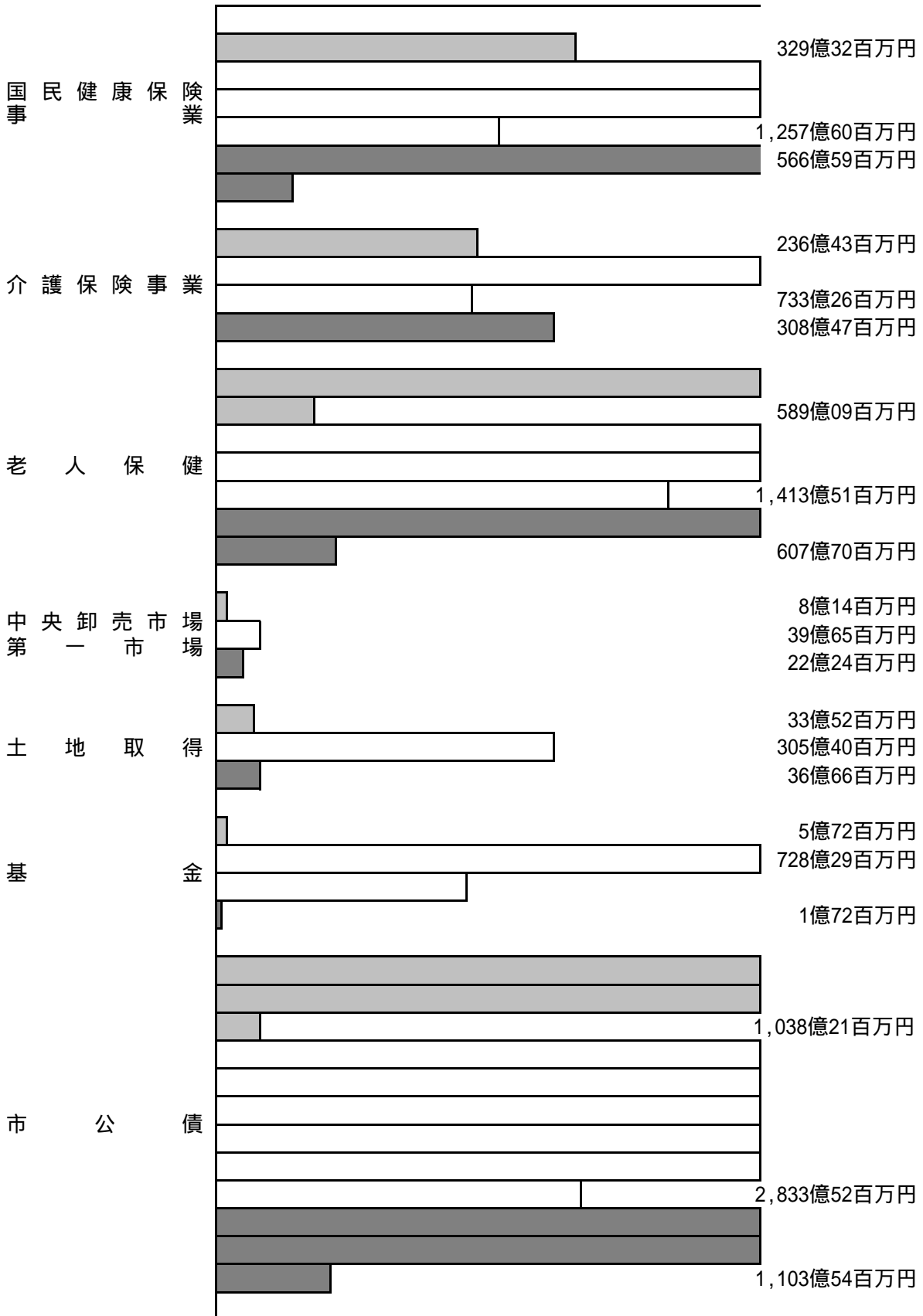


特別会計予算の執行状況

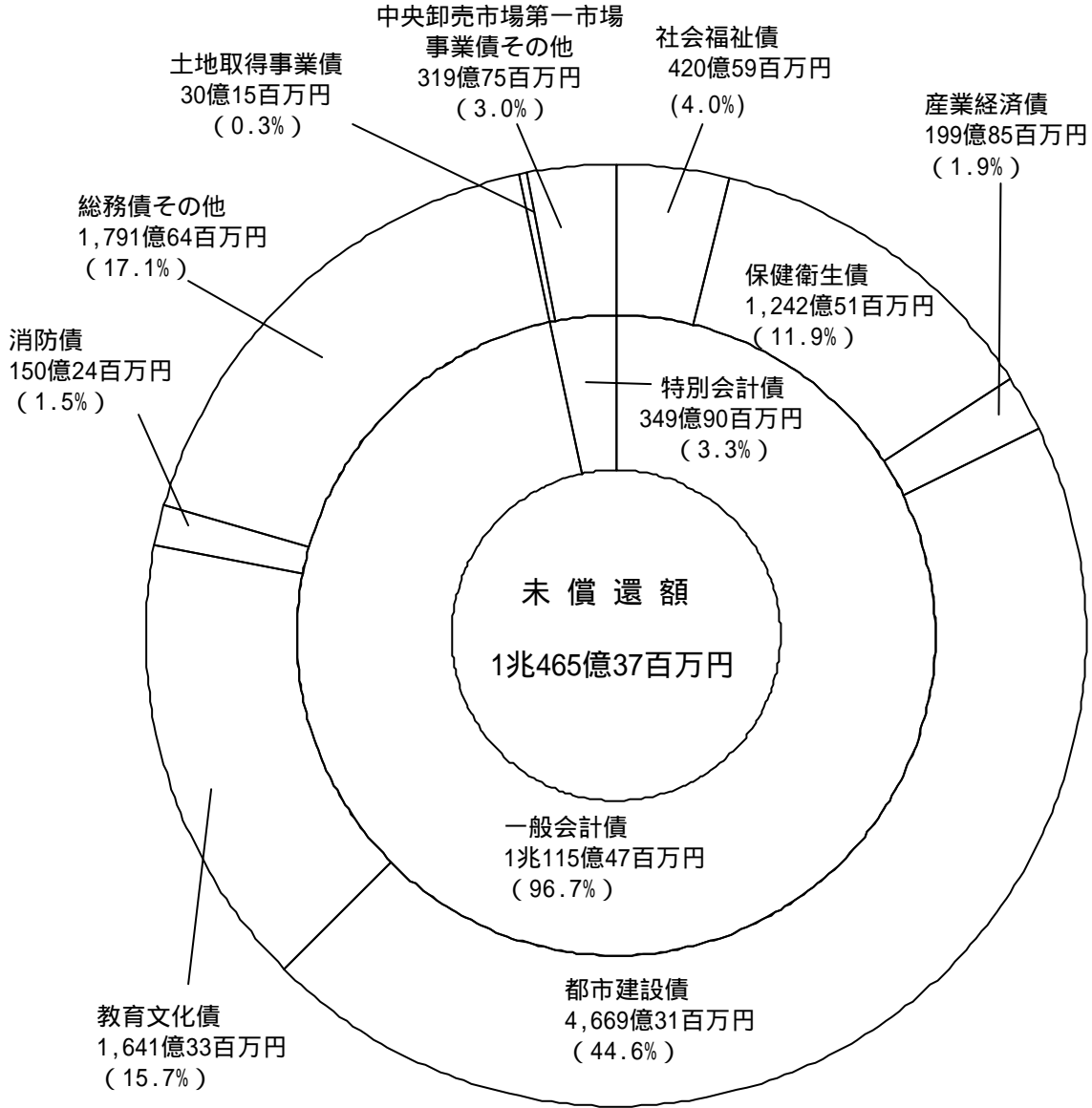
	収入済額	2,251億39百万円
	予算現額	7,372億91百万円
	支出済額	2,666億92百万円



0 100 200 300 400 500億円



市債の現在高



(注) 満期日に一括して償還する市債については、償還に備えて、毎年度公債償還基金に一定額を積み立てており、上の図の各金額は、この積立金相当額を差し引いた額です。

一時借入金の状況

予算で定めた最高額	一時借入金の現在高
963億円	0億円

注 一般会計と特別会計（公営企業会計分を除く。）の合計額です。

市有財産の状況

土地	27,921,208.89 m ²
建物	4,553,150.04 m ²
山林	939,186.00 m ²
立木	55,299 m ³
債権	45,613 百万円
その他	195,755 百万円ほか

注 山林の面積は、土地の面積の内数です。